3 健やかな体の育成

（１）　健康づくりの推進

①　健康で安全な生活習慣の育成

児童生徒が、健やかな学校生活を送るとともに、生涯にわたって健康的な生活習慣を身につけることができるように、家庭や地域及び関係機関等と連携しながら健康で規則正しい生活習慣の育成を図る。

■　性に関する指導

性に関する正しい判断と行動ができる児童生徒の育成とともに指導者の養成並びに指導力の向上を目指している。平成２４～２５年の２ヵ年で平成１６年３月に発刊した熊本市の性教育《指導案集》の見直しを行い、平成２６年３月には熊本市の性に関する指導《指導案集》を発刊した。

○　平成２５年度実績

・性に関する指導第一次研修会（実践発表、講演）：参加者１９４人

・性に関する指導第二次研修会（小中学校授業研究会）：参加者２５２人

■　喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育

喫煙、飲酒、薬物乱用の危険性や有害性を認識させる教育を推進し、指導者の養成並びに指導力の向上を目指す。平成１８年度に熊本市の薬物乱用防止教育《指導資料集》を配布した。

○　平成２５年度実績

・各小中高等学校における喫煙・飲酒薬物乱用防止教室の開催：実施校１３６校

・指導者研修会の開催：参加者１５８人

■　健康診断

現在の子どもたちを取り巻く生活環境の変化に伴う運動量の減少や不規則な食生活、肥満傾向児童生徒の増加など多くの課題を抱える中、健康管理と自己管理能力を育てるために健康診断を行っている。

■　望ましい生活習慣の育成

○　小児生活習慣病予防検診

小児期の肥満は成人の肥満に移行する確率が高いといわれている。また、その成人の肥満が生活習慣病の大きな危険因子であることから、小児期の肥満に早期に対応し、意識の高揚を図るため、小学４年生の肥満度２０％以上の児童に対して、検診と保護者への指導を実施している。

	小４児童数（A）	肥満度 20%以上の児童数（B）	肥満度 20%以上の児童割合（B/A）	受診児童数（C）	受診した児童の割合（C/B）
平成 21 年度	6,628 人	617 人	9.31%	307 人	49.8%
平成 22 年度	7,236 人	662 人	9.15%	266 人	40.2%
平成 23 年度	6,951 人	572 人	8.23%	301 人	52.6%
平成 24 年度	6,924 人	650 人	9.39%	328 人	50.5%
平成 25 年度	6,763 人	589 人	8.71%	314 人	53.3%

○　生活習慣改善パンフレットによる指導と啓発

次年度小学校入学予定者に対し、就学時健康診断時において、生活習慣改善啓発パンフレットを配付し、基本的生活習慣について啓発している。また、児童生徒へは、生活習慣改善啓発パンフレットを活用した指導を推進している。

○　健康手帳の活用

肥満傾向にある子どもに対し、健康手帳を活用することによって、家庭と連携した指導を行い、小児生活習慣病の減少を目指している。

② 体力向上の推進

生涯を通じて運動に親しみ、健康で安全な活力ある生活を送るために、適切な運動・調和の取れた食事・十分な休養睡眠の「健康３原則」の観点から、幅広い体力向上の推進に努めている。

■ いきいき健康づくりプログラムの活用

子どもたちの体力向上を図るプログラムを策定し、その内容を各学校に紹介し、各々の学校が主体的に体力向上の実践に取り組んでいく。

○　プログラムの内容

＜教科体育及び教科外体育等での取組＞

・教科体育

・教科外体育

・教具等の工夫

＜健康な生活に関する取組＞

・健康な生活習慣に関する指導例

・調和のとれた食事

＜家庭との連携・啓発に関する取組＞

■ 体力向上実践校・モデル校の指定

児童生徒の体力向上を目的とする「子どもの健康づくり・体力向上推進事業」の一環として、体力向上実践校を指定し、用具等を整備しながら体力向上に取り組んでいる。また、平成２２年度から体力向上実践校の中で特色ある取り組みを実践した小中学校１校ずつをモデル校として指定し、実践的な取り組みの普及を目的に研修会を実施した。

○　平成２５年度実践校（小学校９校、中学校４校）

古町小学校　春日小学校　託麻原小学校　松尾北小学校　月出小学校　西里小学校

芳野小学校　豊田小学校　田原小学校

江南中学校　武蔵中学校　龍田中学校　日吉中学校

○　平成２５年度モデル校（小学校１校、中学校１校）

東町小学校　下益城城南中学校

■ 総合運動部の設置推進

種々の運動を経験できる総合運動部の設置を推進する。

平成２５年度設置小学校数　２７校

■　運動部活動の適正な推進

運動部活動は、学校教育活動の一環として、体力の向上や健康の増進を図ることなどを目的とし設置されている。

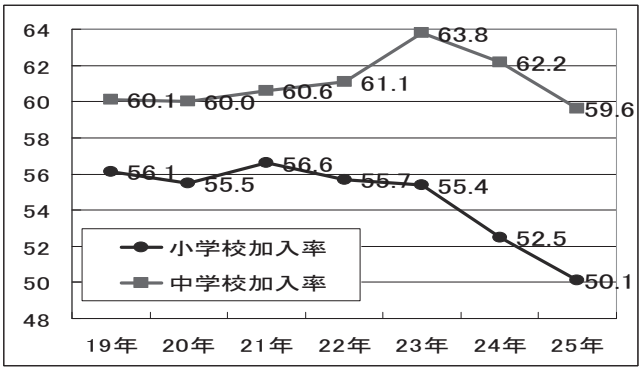
○　平成２５年度運動部活動設置数

小学校　３８０部

中学校　４５６部

（平成 19 年度～平成 25 年度）

運動部活動加入状況推移



■　熊本市わくわくチャレンジ長なわとびフェスタの実施

平成２４年度から新たに体力向上を目的として小学校を対象に「熊本市わくわくチャレンジ長なわとびフェスタ」を冬場の１１月から翌年２月かけて実施した。参加申請のあったクラス単位で「８の字跳び」を競い合い、学校賞及び各部門ランキング賞を表彰した。

○　参加学校数及び参加学級数

市内全学校数	参加学校数	参加率	うち全学級参加校数
９４校（白浜分校を含む）	９４校	１００％	７６校

○　通常学級

チャレンジの部	市内全学級数	参加学級数	参加率
ランキングチャレンジ	１，３５５	６５８	約９２％
目標達成チャレンジ		５８５	

○　特別支援学級で参加　　２７学級参加

（２）　食育の推進

健やかな心身の育成及び生涯を通じて望ましい食習慣を営む態度を養うために、安全でおいしく楽しい給食と食に関する豊かな情報を提供するとともに、家庭や地域社会及び関係機関等との連携・協力を図り、食育を推進する。

■　学校給食の概要

○　経緯

昭和２２年に全小学校（２６校）でミルク給食が始まり、昭和２６年に小学校６校で、昭和４８年には中学校でも完全給食を開始した。現在、全ての小学校（９４校）・中学校（４２校）で給食を実施している。

○　米飯給食

昭和５５年から導入し、平成５年から週３回実施。（内麦飯２回）

○　献立

献立作成委員会において標準献立を作成し、小学校及び共同調理場（中学校）毎に標準献立を実施。（旧植木町、旧城南町では、標準献立を基に一部変更の上で実施。）

市産品を使用した「食育の日～ひごまるデー～」の献立や「味の旅」「児童生徒が考えた献立」の他、セレクト給食等、栄養バランスが取れた魅力あるおいしい献立を実施。

○　物資の購入

おかずに関する物資・・・（公財）熊本市学校給食会による共同購入

パン、ご飯、牛乳等の基本物資・・・（公財）熊本県学校給食会から購入

（旧植木町、旧城南町では、おかずに関する物資の購入において独自に業者選定を行い購入）

○　調理方式

小学校　単独調理場方式　８５校
　　親子方式調理場　　５校
　　共同調理場方式　　４校
中学校　単独調理場方式　　２校
　　親子方式調理場　　２校
　　共同調理場方式　３８校

○　研修

給食技師研修会、給食技師調理研修会、学校給食関係者研修会、栄養教諭・学校栄養職員研修会、食育担当者等研修会、給食受入業務補助員研修会、新規採用・転任者給食関係職員研修会

■　食に関する指導

望ましい食習慣や健康管理能力の育成を図るため、各校において食に関する指導に係る全体計画等を作成し、栄養教諭・学校栄養職員による専門性を活かした授業を実施したり学校給食を教材として活用するなど、学校教育活動全体を通じて食に関する指導の推進を図っている。

■　市産品の活用

平成１２年度から関係課及び関係団体と連携して地域農産物の学校給食への導入を開始している。熊本市の農産物を紹介し、それを活用した給食を実施することで、地元の農業と農作物に対する児童生徒の理解を図っている。

平成２５年度　導入品目数　４１品目

れんこん、すいか、みかん、米、ピーマン、せり、ほうれんそう、青ねぎ、大豆（納豆、味噌、豆腐）、キャベツ、ナス、なし、たまねぎ、いちご、チンゲン菜、小松菜、水菜、甘藷、きゅうり、はるか、トマト、にら、晩柑、ブロッコリー、ネーブル、レモン、にんにく、もやし、パセリ、ステックセニョール、不知火（でこぽん）、たけのこ、パプリカ、じゃがいも、春日ぼうぶら、京菜、山東菜、きくらげ、ミニトマト、レイシ、一文字

（旧植木・城南町も地域農産物を学校給食へ積極的に導入しているが、実績には含めていない。）

■　学校給食における衛生管理

学校給食衛生管理基準を遵守し適切な衛生管理を行い、食中毒の防止に努めている。調理従事者には、年１回の健康診断を行い、毎月２回の検便を実施するなど、調理従事者の健康状態の把握に努めている。また、長期休業期間中には、調理場内の清掃や害虫駆除を実施している。

学校給食事業安全衛生委員会では、衛生管理や作業中の事故防止等の点検と改善に努める他、保健所と緻密に連携をとり、衛生管理の徹底を図っている。

その他、計画的な施設面の改善充実によるドライシステムの導入など、衛生管理を強化している。

○　ドライシステム導入の調理場（１４共同調理場、３１給食室）

託麻共同調理場、出水南共同調理場、藤園共同調理場、井芹共同調理場、東共同調理場、長嶺共同調理場、武蔵共同調理場、富合共同調理場、龍田共同調理場、城西共同調理場、植木共同調理場、西原共同調理場、城南共同調理場、日吉共同調理場

桜木東小、北部東小、出水小、龍田小、託麻西小、山ノ内小、城西小、川尻小、健軍東小、春竹小、力合小、古町小、碩台小、砂取小、黒髪小、泉ヶ丘小、清水小、帯山西小、隈庄小、下益城城南中、春日小、御幸小、川上小、西里小、銭塘小、奥古閑小、田迎西小、池田小、秋津小、飽田西小、力合西小

注）ドライシステム：乾いた状態の床で作業が行え、床からの跳ね水による二次汚染の防止や湿度が高くならないように室内環境に配慮した施設

■　ふれあい給食

児童・生徒と地域の人々との会食を通して、学校給食についての理解と関心を深めるとともに、相互の心の交流を図ることにより、児童・生徒の心身の健全な育成を図ることを目的に「ふれあい給食」を実施している。参加者は、校区老人会、民生委員・児童委員、自治会、児童・生徒の祖父母などである。（平成２５年度実績　実施校１３４校）



■　熊本市わくわく楽しい給食作品展

給食への思いを表した作文や図画・ポスター、毛筆書写及び児童・生徒が考えた給食献立の作品を募集し、優秀な作品を展示している。給食献立の最優秀作品及び優秀作品については、給食記念日（１月２４日）を含む１週間において全小・中学校で献立として実施し、給食への理解・関心を深め大変好評である。

平成２５年度実績　応募総数　３，６４１点

最優秀作品の実施献立

献立の部＜小学校＞



梨カレー

献立の部＜中学校＞



他ぬき勝つ丼、もずくときゅうりの酢の物
厚揚げと玉ねぎのみそ汁

■　共同調理場の民間委託（調理、配送及び洗浄業務）

平成１７年４月から２年間、藤園及び日吉共同調理場において調理業務等の民間委託をモデル的に実施し、平成１８年８月に、評価委員会から「総合的に評価した結果、問題ない」という最終報告書が提出された。評価委員会の答申を受け、平成１９年度から藤園及び日吉共同調理場については、民間委託の本格実施に取り組んだ。

その後、平成２０年度に３施設（出水南、井芹及び長嶺共同調理場）、平成２１年度に４施設（東、託麻、武蔵及び龍田共同調理場）、平成２２年度に４施設（城西、西原、京陵及び城南共同調理場）が民間委託に移行し、平成１１年度から民間委託に移行している富合共同調理場を含めると現在　１４施設（東、藤園、日吉、託麻、武蔵、出水南、井芹、長嶺、龍田、富合、城西、西原、京陵及び城南共同調理場）が民間委託に移行している。